

皇室ゆかりの地を 親子で巡る 歴史探訪

～ 60年に一度 大覚寺 戌戌開封法会 ～

京都は千年以上もの長さにわたり都として栄え、雅な宮中文化が生まれ、東京の皇居以外に唯一現役の御所があります。こうした日本の歴史と皇室と京都との関わりを踏まえ、皇室の^{いやさか}弥栄を願う「双京構想」の実現に取り組んでいます。

本年は、明治150年・平成30年の節目の年であることから、京都における皇室ゆかりの地を親子で巡る歴史探訪を開催します。

今回は、平安のはじめ、嵯峨天皇の離宮として建立された大覚寺と京都御所を訪れます。



平成30年

日時

10月20日 [土]

13:30～16:30

京都市役所前集合 (集合13:15)

参加料無料

申込多数の場合は抽選

当選者の発表は、参加証の発送をもって代えさせていただきます。

対象

京都府市民の小・中学生 (小学生については4年生以上) 及びその保護者 30組60人 (1組4名まで申込み可)。参加者保険加入付き。



内容

京都における皇室ゆかりの地である大覚寺*と京都御所をチャーターしたバスで訪れます。

①京都御所⇒大覚寺 ②大覚寺⇒京都御所

の2コース (各30人) に分かれていますが、内容に変わりはありません。

○NPO法人京都観光文化を考える会・都草のボランティアの方々にガイドいただきます。

○市役所前が集合・解散場所となります。

※大覚寺では、本年秋 (10月1日～11月30日) 60年に一度の^{ほじゅうつ}戌戌の年のみに、「嵯峨天皇^{さがてんのうしんかんちよくふうはん}宸翰^{しん}勅封般若心経」が開封されますので、併せて御覧いただきます。

主催：双京構想推進検討会議 (京都府 京都市 京都商工会議所)
特別協力：NPO法人京都観光文化を考える会・都草

申込み方法は裏面をご覧ください。

「双京構想」とは

日本の大切な皇室の弥栄,そしてわが国の伝統を守り,文化を発展させるため,皇室の方々に京都にもお住まいいただき,政治・経済の首都である「東京」と,歴史・文化の首都である「京都」の双方で,わが国の都としての機能を果たしていくという構想。

「嵯峨天皇宸翰勅封般若心経」について

嵯峨天皇が疫病を憂い弘法大師の勧めにより写経をおこなったところ,たちまち疫病が治まったことから霊経と崇められ,勅封として厳重に秘蔵されることになった。書写された弘仁9年(818年)が戊戌の年であったことから,干支が一巡して戊戌が巡り来る60年ごとに勅使によって開封され,お披露目されることになっている。

申込方法

京都いつでもコール(京都市市政情報総合案内コールセンター)

申込受付期間：平成30年8月24日(金)～9月30日(日)

WEB <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

電話

075-661-3755 (年中無休 朝8時から夜9時)

お申し込みの際には,氏名(ふりがな),郵便番号・住所,電話番号,同伴者氏名(2名まで),参加希望者全員の生年月日をお伝えください。

ファックス

075-661-5855

FAX応募用紙に必要事項を御記入の上,送信してください。



※おかけ間違いにご注意ください。

FAX応募用紙(皇室ゆかりの地を親子で巡る歴史探訪)

ふりがな		生年月日
お名前 (代表者)		大正 昭和 年 月 日 (歳) 平成
ふりがな		生年月日・学年
お名前		平成 年 月 日 (歳) 小・中 年生
御住所	〒	
電話番号		
同伴者(2名まで)がおられる場合はお名前・生年月日・年齢を御記入ください		
ふりがな		生年月日
お名前		大正 昭和 年 月 日 (歳) 平成
ふりがな		生年月日
お名前		大正 昭和 年 月 日 (歳) 平成